

三島海雲記念財団

2019年度 学術研究奨励金対象決定と贈呈式のお知らせ

公益財団法人 三島海雲記念財団(理事長 今関博、所在地 東京都渋谷区)は、2019年度(第57回)学術研究奨励金(研究助成)の対象を決定しました。贈呈式は先に発表した三島海雲学術賞と合わせ7月5日(金)に東京會館(東京都千代田区)にて行います。

今年度の奨励金交付総数は63件、総額は7,361万円です。交付対象(対象者と助成研究)については、次頁以降をご参照ください。

今回の学術助成金額

	自然科学部門 件数・額	人文科学部門 件数・額	合計 件数・額
個人研究	39件 3,900万円	21件 2,100万円	60件 6,000万円
共同研究	2件 1,000万円	1件 361万円	3件 1,361万円
合計	41件 4,900万円	22件 2,461万円	63件 7,361万円

なお、これにより1962年度から2019年度までの累計助成金額は14億3,608万円になります。

今回助成される皆様の中から、将来の三島海雲学術賞が輩出されることを期待しています。

三島海雲記念財団について

当財団は、自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、もってその成果の普及を図り、学術、文化の向上、国民生活の充実に寄与することを目的としています。カルピス株式会社創業者の三島海雲が1962年(昭和37年)に全資産を投じ設立しました。



設立者 三島海雲

この目的に基づき、社会貢献の一端を担う学術支援活動をこれからも一層推進してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 三島海雲記念財団 事務局 山田 誠、唐木田 陽一
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル
Tel:03(5422)9898 URL:<https://www.mishima-kaiun.or.jp>

2019年度学術研究助成 課題および対象者一覧

【自然科学分野】 個人研究 39件／一件100万円の助成

No	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	摂食抑制ホルモンのニューロメジンUによる摂食リズム形成機構の解明	相澤 清香	岡山大学 大学院自然科学研究科	助教 (特任)
2	高脂肪食による血液脳関門破綻と認知機能低下の組織連関の解明	伊藤 慎悟	熊本大学 大学院生命科学研究部(薬学系)	准教授
3	海藻由来の膜微小胞による抗炎症機構の解明	伊藤 智広	三重大学 大学院生物資源学研究科	准教授
4	高脂肪食による腸内真菌の変化が炎症性腸疾患に及ぼす影響の解析	今井 隆行	滋賀医科大学 消化器内科	博士 課程
5	緑茶カテキンによる睡眠改善効果の解明	大石 勝隆	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門	研究 グループ長
6	温度や酸素が嗅覚や味覚神経を通じて食に与える影響	太田 茜	甲南大学 大学院自然科学研究科	特別 研究員
7	日本人2型糖尿病患者の血糖改善を目的とした個別化食事指導介入効果の検証:無作為化比較試験	大村 有加	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科	博士 課程
8	フルクトースによる「やせ型」メタボリックシンドローム発症における消化管の重要性	小田 裕昭	名古屋大学 大学院生命農学研究科	准教授
9	食物繊維を介した酪酸産生菌による動脈硬化予防	笠原 和之	ウイスコンシン大学 マディソン校細菌学	Research Associate
10	ムチン研究ツールとしてのビフィズス菌糖質分解酵素群に関する研究	加藤 紀彦	京都大学 大学院生命科学研究科	助教
11	腸内細菌によるロタウイルス感染時の下痢症および腸重積症への影響	金井 祐太	大阪大学 微生物病研究所	助教
12	新種のフルクトフィリック乳酸菌 <i>Lactobacillus kosoii</i> の糖代謝系と免疫賦活機能の解明	きゆう たいせい 邱 泰瑛	北見工業大学 地域未来デザイン工学科	助教
13	グルコースセンサーの不適切な活性化が授乳期の母乳トラブルを引き起こす機序の解明	小林 謙	北海道大学 大学院農学研究院	准教授
14	各種遺伝子破壊動物を用いた種々食品機能性成分の網羅的作用機序解明	小林 麻己人	筑波大学 医学医療系	講師
15	食嗜好を制御する神経ネットワークの解明	佐々木 努	群馬大学 生体調節研究所	准教授
16	母乳成分によるネグレクトの予防と育児行動発現メカニズムの解析	下川 哲昭	高崎健康福祉大学 大学院健康福祉学研究科	教授
17	<i>C. elegans</i> を用いたAGEs生成抑制物質のスクリーニング系確立	須川 日加里	東海大学 大学院生物科学研究科	博士 課程
18	アミノ酸欠乏を感知するセンサータンパク質の分子機構の構造基盤	竹下 大二郎	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門	主任 研究員
19	ハイビスカス茶由来新規抗インフルエンザウイルス化合物の病態制御、感染予防への応用	武田 洋平	帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター	特任 助教
20	高脂肪食がもたらす脳の炎症と肥満の関係一脳に侵入するマクロファージに着目してー	竹村 晶子	奈良県立医科大学 医学部	助教
21	情動中枢を介した摂食行動制御の神経基盤解明	竹本 さやか	名古屋大学 環境医学研究所	教授
22	機能性食品としての核酸創製をめざした挑戦的研究	田良島(齊藤) 典子	徳島大学 大学院医歯薬学研究部	助教
23	ヒトの嗜好性に関わる嗅覚受容体の同定	中嶋 藍	東京大学 大学院薬学系研究科	特任 助教
24	脂肪組織の内分泌系が調節する本能的摂食行動の分子メカニズム	永田 晋治	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	准教授
25	脂質異化促進と血糖値上昇抑制に効果的なphytolを増やす葉物野菜の加工	奈良井(金山) 朝子	日本獣生命科学大学 応用生命科学部食品科学科	准教授

(自然科学分野 個人研究の続き)

No	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	コエンザイムQ10を高生産する酵母の解析と発酵食品への応用	西田 郁久	島根大学 生物資源科学部生命科学科	博士 研究員
27	新たな種なし手法開発のための植物の無核化機構の解明	西村 明日香	東京大学 大学院農学生命科学研究科	特別 研究員
28	メイラード反応で見出した新規色素の食品中での探索と意義づけ	野田 響子	お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科	博士 課程
29	水溶性ビタミン、ナイアシンによる体内時計の調節機構の解明	平山 順	小松大学 保健医療学部臨床工学科	教授
30	日本人集団における脂肪酸トランスポーターCD36と非アルコール性脂肪肝との関連およびその機能解析	藤井 亮輔	藤田医科大学 医療科学部	助教
31	Induction of melanocyte stem cells differentiation using food polyphenols: prevention of stress- and aging-induced hair greying	ぶりりある まいら Villareal Myra	筑波大学	准教授
32	プレバイオティクスとしての開発を目指したスクロースアナログ二糖の機能特性の評価	保坂 浩貴	日本大学 大学院生物資源科学研究科	博士 課程
33	食品の匂いによる食欲制御機構の解明	堀尾 奈央	Harvard Medical School, Department of Cell Biology	Postdoctoral research fellow
34	日本ワインの安全性向上に向けたぶどうの危険性解析とその回避技術の開発	前島 健作	東京大学 大学院農学生命科学研究科	助教
35	食物アレルギーのオンサイトスクリーニングを指向したトランジスタ型センサアレイ	南木 創	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門	研究員
36	植物の側方成長を駆動する維管束形成層の細胞増殖制御	宮島 俊介	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教
37	食由来栄養シグナルによるエネルギー代謝制御機構の解明	宮本 潤基	東京農工大学 農学府・農学部	特任 助教
38	発生工学技術による日本人型2型糖尿病モデルの構築と大麦による糖尿病抑制機構の解明	望月 和樹	山梨大学 大学院総合研究部生命環境学部	教授
39	共役脂肪酸の脂質形態の違がその生理作用に及ぼす影響	山本 幸弘	県立広島大学 生命環境学部生命科学科	准教授

【自然科学分野】 共同研究 2件/一件 200万円~500万円の助成

No	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	多機能性ポリフェノールのアルツハイマー病予防機作の検証: microRNA解析	小林 彰子	東京大学 大学院農学生命科学研究科 食の安全研究センター	准教授
2	食の価値・評価と行動選択の神経基盤の解明	溝口 博之	名古屋大学 環境医学研究所 次世代創薬研究センター	講師

【人文科学分野】 個人研究 21件／一件100万円の助成

No	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	20世紀初頭イラクのアラビア語文壇と近代化：ユダヤ系知識人による西洋演劇の受容を中心に	天野 優	同志社大学 大学院神学研究科	博士課程
2	宋代の冊封・朝貢—実態における歴史的意義に注目して—	遠藤 総史	大阪大学 大学院文学研究科	博士課程
3	清代前期盛京地方の法制と社会——『黒図檔』を中心に	おう てんち 王 天馳	京都大学 大学院文学研究科	博士課程
4	諸修道会間の関連から見る明清中国におけるカトリック教理問答の編纂と出版	おう ぶんろ 王 雯璐	東京大学 大学院人文社会系研究科	博士課程
5	西夏国に於ける軍事・社会組織「抄」の研究	大西 啓司	龍谷大学 世界仏教文化研究センター	客員 研究員
6	1984年インド・デリー暴動（シク教徒虐殺）の生存者の「記憶」と共同体の関係	岡本 優加子	東京大学大学院 大学院総合文化研究科	博士課程
7	清代黒龍江水師營の成立と展開	き きんけい 祁 今馨	早稲田大学 大学院文学研究科	博士課程
8	「満洲」における日本の綿羊改良事業の新中国での継承・断絶問題の解明	きん うえい 靳 巍	大阪市立大学 大学院文学研究科都市文化研究センター	博士課程
9	アジアにおける科学観の認識に関する研究—理工系人材の倫理・哲学の変容に着目して—	黒田 友貴	静岡大学 大学院自然科学系教育部 (創造科学技術大学院)	博士課程
10	フルンボイル地域におけるモンゴル系サブグループの民族衣装の文化人類学的研究	こぶる そるや 郭布勒 索麗娅	東京外国語大学 大学院総合国際学研究科	博士課程
11	冷戦期東アジアにおける国家暴力：韓国・光州事件とアメリカ	佐藤 雪絵	早稲田大学 大学院政治学研究科	博士課程
12	GISを用いた古代スリランカの水利施設築造の地理的条件の解明	鈴木 慎也	東京工業高等専門学校 一般教育科(人文系)	助教
13	中央アナトリア、銅石器—前期青銅器時代の考古学的再評価	須藤 寛史	岡山市立オリエント美術館	副主査 学芸員
14	ポスト・モンゴル期イランにおけるメシアニズムの諸相：ファドルッラー・アスターバーディーのメシア自称論理	角田 哲朗	京都大学 大学院文学研究科	博士課程
15	読音統一会と近代中国の国語運動	ちん き 陳 希	東京大学 大学院総合文化研究科	博士課程
16	潜伏キリシタン遺物白磁製マリア観音像の制作地と輸入経路について	原 千夏	東京藝術大学 大学院美術研究科	博士課程
17	中央アジアにおける紐状織物制作の現状を探る～ウズベキスタンのカード織りについて	福田 浩子	広島県立美術館学芸課	学芸 課長
18	植民地朝鮮における産婆と墓地 —「出生と死亡の近代化」をめぐる衛生政策と日常生活—	ほ そよん 扈 素妍	京都大学 大学院文学研究科	博士課程
19	韓国人画家の海外進出と伝統表象——金煥基とアンフォルメル新世代の比較から	松岡 とも子	総合研究大学院大学 文化科学研究科	博士課程
20	東アジア仏教における教学的な国際交流の研究—「唐決」を中心に—	村上 明也	龍谷大学 アジア仏教文化研究センター	リサーチア シスタント
21	モンゴル国初発見突厥壁画墓の三次元記録とデジタル展示	山口 欧志	奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	研究員

【人文科学分野】 共同研究 1件／一件200万円～500万円の助成

No	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	安陽殷墟西北岡商代後期王陵区祭祀坑の研究	溝口 孝司	九州大学 大学院比較社会文化研究院	教授

(敬称略)